

## みんなでつないだ不滅の火 町炬火イベント

9月4日、希望郷いわて国体の町炬火「浄土の心 みんなでつなぐ 不滅の火」の採火式と炬火リレーなどが町内で行われました。

中尊寺で行われた採火式では、山田俊和貫首の手によって、中尊寺本堂の「不滅の法灯」が炬火として分火されました。その後炬火は5歳～60歳の町民25人によって、中尊寺から観自在王院跡までみんなで協力してつなぎ、観自在王院跡に設置された炬火台にともされました。



## 県に支援と協力を要望 県に対する要望会

県に対する要望会が8月24日、役場会議室で開かれ、青木町長、佐藤町議会議長らが県南広域振興局の堀江淳局長らに対し、教育・文化関係や道路・河川関係など21項目について、支援と協力を要望。また①一関市と町を結ぶ国道4号の道路勾配の改善と拡幅整備②主要地方道平泉巖美溪線の歩行者、自転車道整備③束稲山麓の世界農業遺産への取り組みに向けた支援④企業誘致活動一の4件を重点要望項目として県に説明しました。



## がんにはげない社会を目指す リレー・フォー・ライフ in 2016 いわて

「リレー・フォー・ライフ in 2016 いわて」(日本対がん協会、同イベント実行委員会主催)が9月10日から11日にかけて、観自在王院跡で開催されました。

このイベントはがんにはげない社会を目指し、リレー方式で24時間歩き、がん撲滅を願う世界的なイベントで、一関地方では2012年に同会場スタート。10日には約300人が参加し、さまざまなメッセージが書かれた横断幕を手に、フィールド内を歩いていました。



## 元気いっぱい交流を深める 町内各所で運動会

8月～9月にかけて町内各所で各行政区の運動会が開催されました。

このうち12区大運動会が8月28日、旧共立医院跡地で開催され、地域住民85人が参加。玉入れや綱引き、輪投げなど多彩な種目で競技が行われ、競技を通じて交流を深めていきました。また輪投げでは、町内女性最高齢の藤田トクヨさん(104歳)も参加。元気に輪投げをする姿を見せると、観客から大きな拍手が送られ、会場内は笑顔に包まれていました。

## 力強い試技に会場が沸く 「希望郷いわて国体」パワーリフティング競技

第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」公開競技のパワーリフティング競技が、9月10日から11日までの2日間、平泉小学校体育館を会場に開催されました。

パワーリフティングは「スクワット」「ベンチプレス」「デッドリフト」の3種目で挙げた合計重量を競うスポーツ。前回の和歌山国体から公開競技となり、今大会では33都道府県から105人がエントリーしました。気合十分で試合に臨む各選手の力強い試技に会場が沸きました。



## 長寿の祝福に笑顔 千葉チヨさんが満100歳を迎える

8月31日、千葉チヨさん(14区)が満100歳の誕生日を迎えられました。この日は千葉さんが利用されている施設でお祝いの会が開かれ、青木町長から記念品や花束が贈呈されました。青木町長から「これからも長生きして楽しく過ごしてほしい」と声を掛けられると、満面の笑顔で応えてくれました。

千葉さんの趣味は、パズルをすることで施設の利用者や職員の目を楽しませています。家族らのたくさんの笑顔に囲まれて長寿を祝いました。



## 感謝を込めて 長寿を祝う 第62回平泉町敬老会

平泉町敬老会が9月18日、平泉中学校で開催されました。式典には、昭和12年4月1日以前に生まれた80歳以上の1,055人が招待され、434人が元気な姿で出席。最高齢者や米寿者らにお祝いの記念品が贈られました。

昼食を囲みながらのアトラクションでは、平泉喜桜会による謡や町民生児童委員協議会によるスコープ三味線、平泉中学校生徒による踊りなどが次々と披露され、招待者らは楽しいひとときを過ごしていました。



## 黄金メロンの販売体験 平泉小5年生の総合学習

平泉小学校の5年生が9月2日、毛越寺駐車場で「黄金メロン」の販売学習活動を行いました。

この取り組みは町の産業について学ぶ総合学習の一環であり、児童は黄金メロンの定植や受粉、収穫作業などを行いながら、第1次産業の農業について理解を深めてきました。

この日は、手作りののぼり旗やチラシを準備し、訪れた観光客らに黄金メロンをPR。店頭に並んだ約70個のメロンは1時間ほどで完売しました。